

中部山岳国立公園 つがいけ 柵池自然園

ルートガイド

はくばりがたけ
白馬鍾ヶ岳
2903m

しゃくしだけ
杓子岳
2812m

しろうまだけ
白馬岳
2932m

これんげさん
小蓮華山
2766m

はくばのりくらだけ
白馬乗鞍岳
2437m

天狗原
標高2200m



白馬大雪渓・北アルプスを
間近に望む絶景スポット

約600m(約20分)

自然園全景を
見渡せるポイント

約700m(約25分)

アルプスの冷たい雪解け
水に触れられる清流

約600m(約20分)

7月下旬~8月上旬 ワタスゲ(穂)や
ニッコウキスゲの花畑が広がる

約500m(約15分)

園内に生息してる
イワナが見える!

展望台

標高2020m自然園内
最高地点の絶景!

モウセン池

銀命水

案内板

この先にトイレは
ありません
※7月中旬から利用可
(雪解け状況により変更あり)

ワタスゲ湿原
標高1870m

ミズバショウ湿原
標高1860m

梅池ヒュッテ記念館

ビジターセンター

梅池山荘

梅池ヒュッテ

400m舗装
された坂道

自然園駅
標高1829m

梅池ロープウェイ 71人乗り 5分

5月~6月 ミズバショウ
の群生を見ることが
できる梅の森湿原

梅の森駅
標高1582m

梅大門駅

250m
坂道

Gondラリフト26号柱からの
北アルプス・山麓絶景スポット

梅池パノラマウェイ

白樺駅
※通過駅

雪の広場

梅池 Gondラリフト「イヴ」 6人乗り 20分

梅池高原駅
標高839m

大型バス・マイクロバス P フードショップ梅の木
専用駐車スペースあり 梅の湯・売店

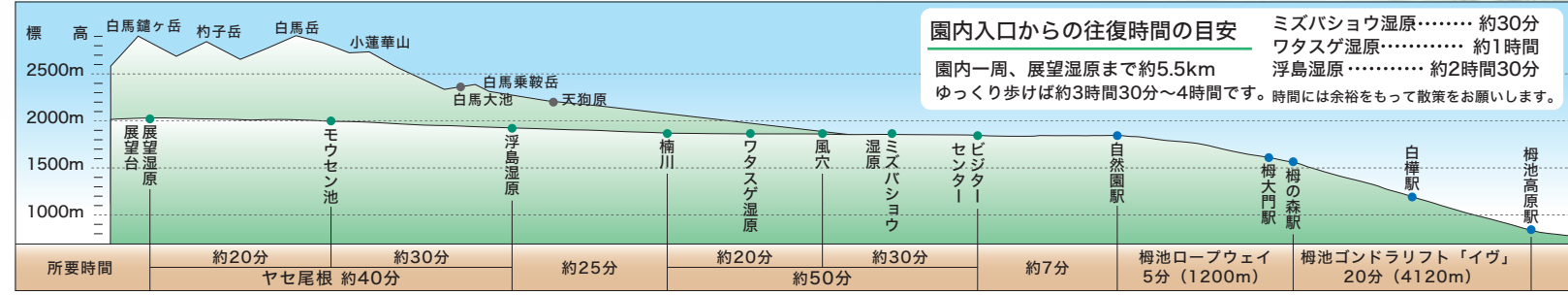


間近にせまる白馬大雪渓と
北アルプスの眺望 『展望湿原』



静寂に包まれた池に小さな浮島と
高山植物のお花畑 『浮島湿原』

- 木道
- バリアフリー木道
- 弁当スポット
- トイレ
- 車いす利用可能トイレ
- 温泉・足湯
- 舗装路
- 山道(未舗装)
- お土産
- レストラン
- エレベーター
- AED



園内入口からの往復時間の目安
園内一周、展望湿原まで約5.5km
ゆっくり歩けば約3時間30分~4時間です。時間には余裕をもって散策をお願いします。

ミズバショウ湿原..... 約30分
ワタスゲ湿原..... 約1時間
浮島湿原..... 約2時間30分

※植物の開花時期は天候等により変わる場合があります。
©2016 Hakuba Resort Development Co.,Ltd. (禁複製)

『梅池自然園の魅力』

梅池 Gondola リフトを下りた標高1560mから「中部山岳国立公園第1種特別地域」に指定され、標高1900m～2000mに広がる「梅池自然園」は日本有数の高層湿原です。数百万年以上もの長い年月をかけてきた4ヶ所のそれぞれ特徴ある湿原と、数百種類にも及ぶ色彩豊かな花々や高山植物が咲く大自然の空間です。園内は一周約5.5キロの遊歩道と木道が整備され、最も奥に位置する展望湿原からは日本三大雪渓の「白馬大雪渓」が間近に望め、雄大な北アルプスの絶景が広がります。この素晴らしい大自然をお楽しみいただくとともに、次に訪れる方、後世に大切な自然を残すために、貴重な自然の保護にご協力をお願い致します。

花情報好評発売中!!

スタッフが毎週レポート。その時に見られる花の写真を撮影し見頃情報を紹介! ハイキングのお供に便利一枚。好評発売中!

■販売場所: 梅池ロープウェイ自然園駅・梅の湯売店



梅池高原レポート Q & A

Q ロープウェイがあるのはなぜ?

A 標高1900m～2000mに広がる梅池自然園へは、平成5年までは車で自然園の入口まで上ることができましたが、車から出る排気ガスがもたらす自然環境への影響が懸念され、路線バスと車の乗り入れを全面廃止して、平成6年から代替輸送として環境への影響が少ないロープウェイの運行を開始しました。



Q オオシラビソと梅池の名前の由来は?

A 梅池高原の標高1500mより上部で多く見ることができるオオシラビソ。6月頃に花をつけ、長さ約10cmの青紫色の球果(マツボックリ)が枝の上に付くのが特徴。球果が多く付く年と付かない年があり、成熟すると球果のまん中の軸を残して羽のついた種子がばらばらと散ります。オオシラビソは通常のシラビソよりも葉が密集しているのが特徴です。この地域では昔から「つがの木」と呼ばれており、自然園の湿原全体を「池」となぞらえて「梅池」という地名になったと言われています。



Q 木に付着している緑色の糸状に見える物は何?

A 「サルオガセ」といい、霧などの空気中の水分と光合成だけで成長します。付着している様子は、遊歩道やロープウェイ乗車中に見ることができます。



Q 梅池自然園はどうやってできたの?

A 白馬乗鞍岳の火山活動に伴って階段状の断層ができ、梅池自然園、天狗原の平坦面が形成されました。その平坦面の窪みに池ができ、ミズゴケやワタスゲなどの植物が自生しました。こうした植物が枯れても寒冷な気象条件のもとでは腐ることなく泥炭化し、その上に新たな植生が生まれ、長い年月をかけて現在の梅池自然園の湿原が生まれました。



Q 『高層湿原』ってどんな湿原?

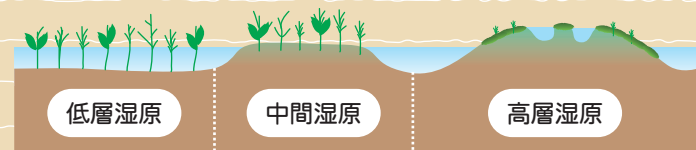
A 冷涼な地域では植物が枯れても微生物による分解がされず泥炭化し、周囲の地形よりも高く堆積したため、地下水の供給を受けず雨水のみで維持されるようになった湿原のことを高層湿原といいます。その堆積するスピードは1年間に0.5～1mm程度といわれ、周囲との高さにより『低層湿原』『中間湿原』『高層湿原』に分けられています。

『低層湿原』年間を通して地表流水のある湿原で、ミズバショウ、リュウキンカや大型植物が生育しています。

『中間湿原』池塘周辺や小さな凹地の地下水位が高く安定した場所のみられ地表水が見られますが、夏から秋にかけては水位が低下し、高層湿原に発達する場合と乾燥して森林になっていく場合があります。

※池塘(ちとう)とは…湿原に点在する小池です。

『高層湿原』湿原が水面より高く盛り上がり、地下水の供給を受けずに雨水によって潤されている湿原です。土壌はほとんどが栄養状態が悪いので、生息している植物は栄養不足に耐えることができる小型のスゲ類のワタスゲ、ミズゴケ類のモウセンゴケ等が生息しています。



Q 4つの湿原にはどんな特徴があるの?



『ミズバショウ湿原』

メインステージは6月下旬～7月上旬にかけてのミズバショウの群生です。本州では一番遅咲きと言われ、残雪と新緑の調和のとれた中に咲くミズバショウの清楚な姿は清々しく感じます。7月下旬には皇室の文仁親王紀子様の御印でも知られるヒオウギアヤメ、8月中旬には長野県内では梅池自然園でしか見ることのできないクロバナロウゲの花を楽しむことができます。

『ワタスゲ湿原』

7月中旬～8月上旬にかけてのニッコウキスゲの花と、ワタスゲの白い花穂や、チングルマの花々が日光と高原に吹くそよ風を浴びてキラキラと輝き、後ろにそびえる北アルプスとの調和が感動的です。ミズバショウ湿原とともに多くの花が咲き誇る湿原です。



『浮島湿原』

大きく開けた湿原中央に小さな池があり、その中に丸い浮島が頭を出している様子が湿原の名前の由来となり、池塘に映る白馬岳の姿は園内随一の撮影スポットになっています。ワタスゲの白い花穂やニッコウキスゲの花が同時に見られることもあり、秋にはチングルマやクロマメノキの草紅葉と山肌の彩が圧巻です。

『展望湿原』

園内奥の展望湿原では間近にせまる白馬三山の勇姿と日本三大雪渓のひとつ白馬大雪渓の展望を楽しむことができます。コース途中のヤセ尾根では、秋にはサラサドウダンの紅葉が疲れを吹き飛ばしてくれます。ヤセ尾根のピークには展望台があり、ここから白馬三山や白馬大雪渓を間近に望むことができる絶景スポットです。



『モウセン池』

モウセン池は食虫植物のモウセンゴケが群生する小さな池があり、木のベンチがあつて休憩や、お弁当を食べるおすすめの場所です。

『銀命水』 清らかな冷たい北アルプスの湧水です。



『風穴』



太古の火山活動の名残と言われていて、夏でも岩の間に残雪がみられ冷たい空気が吹き出してとても涼しく、ミズバショウの花が最後まで残るのもこの風穴の迎いです。夏のトレッキングの休憩にもうれしい、真夏でも8℃以下の冷気が心地良い天然クーラーです。

